

Lunchtime お昼休みは・・・

お昼休みはお弁当を食べながら同期や先生方と久しぶりの再会を楽しんでおり、楽しそうな声が聞こえていました♪途中相原先生がインスタライブを配信するなどとても盛り上がる時間となりました！



毎年恒例のお楽しみ抽選会

精油バックや国産精油、高級タケノコなど、素敵なプレゼントが9名の方に当選しました。初めての当選に大喜びの会員様、おめでとうございます！



閉会の挨拶

東海支部評議員 中根逸美さん

今年は「生きることの奇跡」というテーマで特別講演宮本二郎先生や特別メッセージ川嶋みどり先生より素敵なお話を聞くことが出来ました。また会員同士で親睦会や分科会を通して交流でき良い時間を過ごすことが出来たかと思えます。来年は神戸で10周年記念を迎えるということでこれからのJCAAが更に盛り上がりを見せてくれることと思います。皆様、神戸で元気にお会いしましょう！！

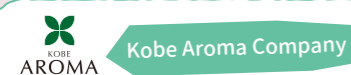


参加者からの声

特別講演や先輩方の発表に沢山の刺激を受けて楽しかったです！

仲間に会えて1人じゃないと思えました。また頑張ります！！

初対面の会員の方とも同じ目標を持っていると感じ嬉しかったです！



特別即売会

Kobe Aroma Company オリジナルブランド「aroma vitae」(アロマヴィーテ)、Natur's gift、Grace of Japan 商品の特別販売が行われました。今回は希少なラベンダーワイルドやキャロットオイルなど、珍しい商品が並び、香りやテクスチャーを試しながらお買い物を楽しんでいました！



JCAA 日本臨床アロマセラピスト協会からのお知らせ

JCAA 公式 LINE、Instagram、Facebook のお知らせ

JCAA のイベント開催情報・ボランティア募集など最新情報をお届けしています！是非、ご覧ください。アカウントをお持ちの方は、是非！フォローをお願いいたします。

令和5年度 事業報告・収支決算報告

本総会にて令和4年度の事業報告及び収支決算等が承認されましたことをご報告いたします。

Facebook



LINE



Instagram



aromapio

アロマピオ

総会特別号

2024年10月発行

日本臨床アロマセラピスト協会

第9回 JCAA 総会 「生きることの奇跡」

2024年6月29日(土)
AP 横浜



第9回総会「生きることの奇跡」が横浜で開催されました。特別講演に小児緩和ケア医の宮本次郎先生をお迎えし、会員様の活動報告・研究発表をはじめ親睦会、分科会、そして…今回総会へのサプライズメッセージを川嶋みどり先生から頂戴(録画配信)するなど、特別講演の先生をはじめ、研究・活動報告の発表者の方々、そして多くの協会員様のご参加により、充実したプログラム内容で盛会のうちに終了することができました。来年は2025年6月1日に神戸で開催いたします。より実り多き総会となりますよう、準備を進めてまいります。皆様のご参加心よりお待ちしております。最後になりましたが、ご参加およびご尽力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

総司会



中野里美さん
クリニカル11期
(東海支部評議員)

樋口有紀さん
クリニカル8期
(九州支部評議員)

開会の挨拶

JCAA 代表理事 竹林直紀先生

新型コロナウイルス蔓延による不安定な世の中が続き、近頃ようやく落ち着きを見せてきたかと思いましたが、今度は世界情勢が不安定になるなど、世の中が落ち着かない日々が続いています。このような時代だからこそ、ホリスティックという考え方でいかにその人にあったケアを目指していけるか問われていると感じます。病気を治すという医学の考え方だけで患者さんを見ることは難しく、いかにその人に合ったケアをするか、看護ケアの考え方も大切に、それぞれの人生観・死生観が問われていく時代へ入ると思われます。生物医学モデル biomedical model だけでなく biosocial model として身体の状態だけを捉えるのではなく、心の状態もみること、+αとして biopsychosocial、ecological、ethical、ecological、existential の視点から患者さんを見ることでほほすべての視点から見る事が出来、全体を俯瞰することが出来ます。全体を捉えホリスティックな視点を持つことが新型コロナウイルスや世界情勢不安の中でどのような毎日を考え生きると考えることに繋がっていきと考えます。それらを踏まえ、今日1日の中で自分にとって大事なテーマを見つけてほしいと思います。



親睦会

親睦会では「自己紹介カード」を使ったグループディスカッションを行いました。1人1枚カードを引き、それぞれが自分の引いたカードのテーマについてグループの方へ話します。自己紹介カードのテーマは「得意なマッサージの手技は?」「私のモーニングルーティン」「ついコンビニで買ってしまふものは?」など意外な一面を知ることのできる内容で、「私も一緒です!」「どうしてですか?気になります!」など初対面の会員様同士で話が弾みとても盛り上がりました。



特別講演

「難病の子ども達が 教えてくれた大切なこと」

[抄 録]

小児科医として、小児がん、小児緩和ケア、小児在宅医療の現場に携わっています。そして多くの難病の子ども達と関わり、その子ども達から大切なことを教えてもらってきました。私が「沖縄子どもホスピスのようなものプロジェクト」を立ち上げて活動しているのは、子ども達から教えてもらった大切なことを形にして、より良い社会にしていきたいと考えているからです。今回はそんなお話しを通じて、皆さんと「生きることの奇跡」について考えてみたいと思います。

[当日の講演]

沖縄で小児科医として携わった子ども達に学んだ症例を挙げながら、子どもはどのような状態にあっても、最後まで成長することが出来る。その成長を見守ることが、その子らしく生き切ることに繋がる。見守ることは、見ているだけではなく、守るだけではなく両方を兼ねた勇気である。そして、他者との関わり方について、常に目の前にある今と少し先の未来を大切に、相手の関心に自ら関心を持つこと。分けようとするのではなく、分かろうとすることで人と人が関り合うことができ、幸せへと繋がる社会になるのではとお話いただきました。当日の講演後は、「宮本先生の温かい講演を聞き、普段の患者さんとの関わり方を改めて考える機会になった。」と参加者から感想がありました。

宮本二郎 先生 小児緩和ケア医・訪問診療医
クラウンチロー



特別メッセージ

「心身の治癒力に働きかける心とわざ」

川嶋みどり 先生 日本で・あーて推進協会
健和会臨床看護学研究所
日本赤十字看護大学

[当日の講演]

看護師として現在も精力的に活動を続けていらっしゃる川嶋みどり先生に、これからの時代に必要な気持ちの良いケアについて特別メッセージをいただきました。

看護というのは身体・心理・生活行動・社会・スピリチュアルなど統合した全人的アプローチであり、看護師は人間性と身体ツールによるアプローチを行い患者様を整える為、食べる・着替える・コミュニケーションを取るなど「気持ちの良い」ことを整える仕事です。その為には、患者様の傍にいてよく聞き触れることが必要とされます。これはアロマセラピーとの共通点ではないかと思えます。現在の世の中は、大自然災害・パンデミック・戦争不安など生命、健康を脅かすような経験があり、益々ストレス過剰な社会となっていってしまう。私は今こそ気持ちの良いケアで副交感神経を優位に出来る、アロマセラピーの出番だと感じます。これからの社会は、生活習慣の内面を高めるような「獨創性」が求められると思えます。獨創性とは、実践と経験の蓄積です。実践量を増やし社会での経験を増やすこと。それはプロフェッショナルの基礎として「わざを磨く」訓練をいとわないことであると思えます。そして、技術を高めることは「信頼の手形」です。わざの反復・精錬をするということは自分のからだのしくみ・働きを熟知して自分の意志で自由に動かす宇宙の秩序に包まれ目標達成をすることです。精錬の積み重ねの中で「やった！出来た！」とフォームを探りあてること。そうしていると、やっている自分が楽しく嬉しく次のステップへ行くことが出来ます。そのような優れたわざの中には安寧があります。その為に、臨床の世界でアプローチしていくことは看護師としても臨床アロマセラピストとしても必要なことです。これからも、大事にしていきたいです。皆さんが日々プロフェッショナルとしてのわざを高め精進することを祈っています。



<2023年度(一社)日本臨床アロマセラピスト協会研究助成 研究発表>

研究発表

アロマハンドマッサージの臨床応用の 可能性と障壁について

北佳子さん(クリニカル8期) 臨床アロマセラピスト*



勤務する大学病院で行っているリレーフォーライフジャパンのイベントにて、がん患者を含むがんサバイバーを対象にしたアロマハンドマッサージの研究を行っている北さん。参加者は長期療養中の方が多く、97%の方は、自身の療養の際にアロママッサージを希望するとの結果でしたが、補完代替療法についての認知度は低い割合であることが、参加者アンケートからわかり、今後の課題や高い関心の分かる研究発表でした。現在も本研究は進められていますので、今後の発表を楽しみにしております。

活動報告

産婦人科病棟内サロンにおける 産前産後ケア活動の現状と課題

小島雅美さん(東京4期) プロフェッショナル
アロマセラピスト



現在、勤務する産婦人科のサロンルームでアロマセラピストとして活動されている小島さん。産後の母親ケアの一環としてアロマセラピーを取り入れ、心身ともに疲弊する患者さんに、アロママッサージを届けています。日常業務とアロマセラピーの時間の兼ね合いの忙しい中でも、チームとして他のスタッフと患者さんについて共有することを大切に、目の前の患者さんが今何を求めているのかを汲み取る姿勢や、心身の回復のために確かな知識と技術を持つことの大切さを感じたと話されました。

活動報告

自宅ケアルーム開業から3年 在宅療養者とその家族へのアロマセラピー

菊本理絵さん(クリニカル7期) プロフェッショナル
アロマセラピスト



自宅ケアルームを開業し地域の方へアロマセラピーを届けている菊本さん。今回は在宅療養者とその家族に対するアロマセラピーについて話されました。患者さんは呼吸苦などを訴えておりましたが、介入後は深い吐息と深呼吸が出来るようになり、酸素飽和度の数値が上がるなど改善が見られました。また、患者さんの家族に対しても月に1回のアロマセラピーを継続されており、疲労やストレスの軽減、今後の自己実現に向けたサポートを行っていると話されました。

活動報告

通所リハビリテーション利用者への アロマセラピー

徳田敦子さん(クリニカル10期) プロフェッショナル
アロマセラピスト



現在勤務する通所リハビリテーションでアロマセラピーを行う徳田さん。リハビリ中にアロママッサージを行う時間を設けることで、弱音を吐露される患者様も介入後は笑顔が戻り、「休息と意欲の向上」に繋がると話されました。今後は理学療法士、介護士と連携して情報共有を行い日々症状が変わる患者様へ対応できるようにしていきたい。臨床アロマセラピーの認知度が低い為、一緒に働く方へ実際にアロママッサージを受けてもらう機会を作ること、参考文献などを配布し周知を行いたいと話されました。

活動報告

アロマセラピーを組み込んだ 訪問看護ステーションを開設して

大久保美貴さん(クリニカル12期) 臨床アロマセラピスト*



昨年訪問看護ステーション開業され、その中でアロマセラピーを組み込んだケアを導入された大久保さん。訪問看護ケアステーションを立ち上げる中で行っていた周知活動の方法、意識作りについて話されました。地域への周知だけでなく、関わる方の一番の理解者であり、良き相談相手となるような心地の良い対応や、スタッフ同士の情報共有などを大切にされています。今後も目の前の方に真摯に向き合うこと、今の自分の持てる力を使い、心を込めてケアを行いたいと話されました。

分科会

分科会では、研究発表・活動報告発表者を主体に、「病院・病棟」「妊産婦」「クリニック」「個人・ケアルーム」「訪問」に分かれての意見交換会を行いました。参加者は興味がある、ご自身が活動されている分野に分かれ、疑問や質問、困りごと、悩みごと等、積極的に意見交換し、今後の活動に対する意欲が高まる時間となりました。

